

保護者様

信州大学教育学部附属長野小学校 令和3年度 GIGA スクール構想まとめ



令和4年5月12日

信州大学教育学部附属長野小学校

本校では、昨年度から文部科学省による GIGA スクール構想に基づき、児童一人一台学習用端末の貸与を開始しました。昨年度は、「これまでの実践とICT(※ICT は「情報通信技術」Information and Communication Technology の略)との最適な組合せを探る1年として、以下の基本方針のもと、ICTを活用した教育活動を進めてまいりました。保護者の皆様には、多方面からお支えいただきありがとうございました。昨年度の取り組みのまとめをご報告いたします。

< 基本方針 >

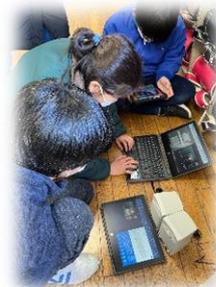
- より良い学びをつくり、暮らしを豊かにしていくために、タブレットを学校・家庭での学習用として活用します。
- 基礎学力の定着を図ると共に、一人ひとりが自由に工夫して使える文房具となることを目指します。
- 情報モラルの学習を通して、子どもたち自らが安心安全に ICT 機器を活用し、創造する力を育みます。

1 タブレット学習1年間のふりかえりアンケートから

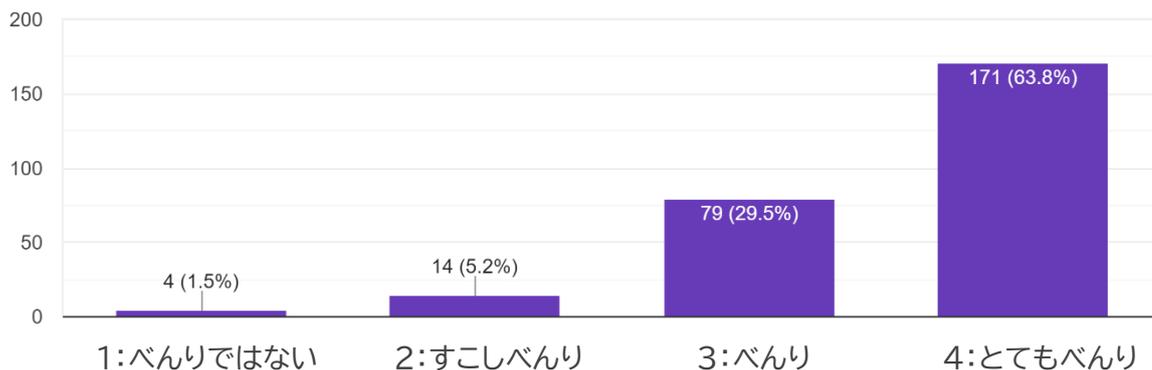
< 児童編 > (昨年度2~5年生:268 件の回答)

Q1 タブレット学習でがんばったことはなんですか。(複数回答可)

1位 タイピング練習	82.5%
2位 AIドリル	76.5%
3位 調べ学習	61.6%
4位 プログラミング	55.6%
5位 日記	55.2%
6位 学習のまとめ・資料の作成	37.3%
7位 児童会	20.9%



Q2 クロームブックをつかってみて べんりだと かんじましたか。

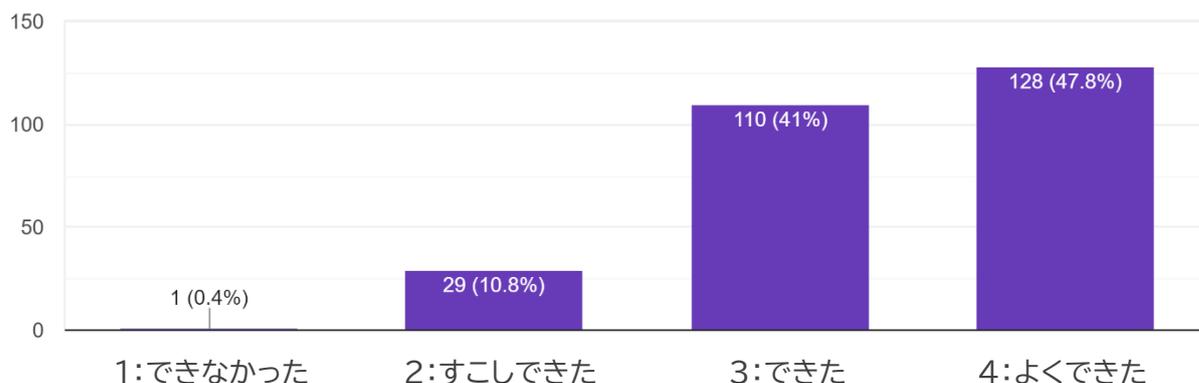


Q3 べんりだと かんじた つかいかたを 教えてください。

- 自分がきになったことを、すぐに調べられる。(多数)
- キーボード入力で早くふりかえりができる。(5年)
- みんなでジャムボードで共有するとまとめやすい。(5年)
- みんなと考えを共有できたりするのが便利。(5年)
- 児童会の資料を調べるときなどに便利だった。(5年)
- 翻訳ができる。(5年)
- 授業でわからなかったところを調べられるところ。(5年)
- 調べたことを共有できること。(5年)
- 図書館にいかななくてもすぐに調べることができて簡単。(4年)
- 家にも授業ができて良かった。(4年)
- 起動が早くて、充電が結構もつこと。(4年)
- 家と学校を Zoom でつなげられる。(4年)
- きれいな図形をかけたりするので便利だと思った。(4年)
- スライドを使って、皆にくわしくわかりやすく説明ができる。(4年)
- AIドリルを使って勉強することで、復習できて自分の力がさらにのびた。(4年)
- 調べ学習で調べたことなどを、ドキュメントに打ち込んでまとめたり、授業のときのメモなどにも使えた。(4年)
- 不思議だな～って思ったとき、すぐ自分で調べることができるから。(3年)
- 漢字変換してくれる。(3年)
- 写真や動画がとれる。(3年)
- 先生が歌をアップしてくれて、そこでたくさん練習ができた。(3年)
- わたしの知らない言葉や知らないことをいろいろ調べられることが便利だと感じた。(3年)
- キーボードを打つのが気持ちいい。(3年)
- AIドリルのおかげで、宿題の丸つけが少なくなった事。(3年)
- クロームブックを使うと紙を無駄にしなくていいと思う。(3年)
- Classroom の「追究」で先生から配信された動画がおもしろかった。
- えんぴつより早く書ける。(2年)
- なんでも調べたり日記もかけるしタイピング練習もできるからすごい便利。(2年)
- マナーを守ったら便利。(2年)
- わからない漢字をしらべたりできる。(2年)
- 間違えても最後に同じ勉強ができて便利だった。(2年)
- コロナで分散登校だったけど、クロームブックがあったから、Meet でみんなと会えた。(2年)
- 宿題もちゃんと配信されているからいいなと思った。(2年)
- クロームブックで日記がかけること。(2年)



Q4 マナーや決まりをまもって つかうことができましたか。



Q5 あなたが クロームブックで できることを 教えてください。(複数回答可)

<アプリ系>

写真撮影	96.3%
動画撮影	91.8%
Google ドキュメント	83.6%
プログラミング	79.1%
Google スライド	61.2%
Google ジャムボード	56.3%
Google フォーム	51.9%
Google スプレッドシート	39.6%

<操作系>

画面キャプチャ(全画面)	45.9%
画面キャプチャ(部分)	42.2%
印刷(ページ指定)	44.4%
印刷(選択部分)	38.1%
写真・動画削除	69%
ファイル削除	63.4%
フォルダ作成	47.4%
ファイル名の変更	62.3%
ファイルの移動	57.1%

Q6 困っていることを教えてください。

- サイトにアクセスすると規制になってしまうことが多い。全部が全部よくないサイトだというわけではないのだから、規制をなしにしてほしい。
- ルールを守っていない人がいること。
- ダメだとわかっているのにやってしまう事がある。

Q7 これからクロームブックで どのような 学習を したいと思いますか。

- AIドリルで全問正解できるようになりたい。
- AIドリルをたくさんやりたい。AIドリルを使って学習したい。
- よくわからないものなどを調べて、ちゃんと理解して学習したい。
- 安全で安心なクロームブックにしていきたい。
- 世界に目を向けて、いろんなことを学習したい。
- 共有の機能を利用して、みんなと感想を共有していきたい。
- より効率よく使って、できることをふやしていきたいし、できないことをできるようにしたい。
- 中学に向けて、学習したい。
- もっとクロームブックを活用してみんなに分かりやすい資料を作りたい。
- 歴史、人物を調べたい。
- キーボードをいっぱいできるように頑張りたい。
- 国語の授業でいろいろな昔話を見たい。
- クロームブック日記で300文字をうってみたい。

Q8 クロームブックをつかうときの やくそくに したいことはありますか。

- 学習に関係のないことは検索しない。(多数)
- 時間を決める(守る)。使う場所を決める(守る)。(多数)
- やってもいいのかわからない不安になったら、大人の人に確認する。
- 目が悪くならないように夜おそくにはやらないようにしたい。
- 大切につかいたい。
- みんなで約束したことを守りたい。
- マナーを守って使いたい。
- 危険なサイトに行かないようにしたい。
- 授業に関係ないことはしない。
- YouTube、ゲームなど、あまりやらないようにしたい。



<教員編>

Q1 一人1台端末を活用した授業を行うことで、子どもたちの姿に変化が見られましたか。

- 社会科や総合的な学習の時間における調べ学習の質の深まりがみられた。クラスで追究している学習問題に対して、予想をもったり疑問を見いだしたりしながら、必要な情報を的確に調べ、ドキュメントなどにまとめていた。このような調べ学習をクラスで共有していくことで、学習問題の解決に迫ったり、新たな問題を見つけ出したりしていった。協働的、創造的な学びがデバイスの活用によってひらかれていると感じる。
- 子どもたちの振り返りなどに質の向上が見られる。
以前は、紙に記述する振り返りと比べると、打つことに精一杯になってしまい内容が薄くなってしまっていたが、タイピングに慣れてきたことで、徐々に内容面も向上してきた。
さらに、気軽に書き足しや削除ができるタイピングの良さもあり、推敲を重ねながら記述する姿も見られるようになってきた。
- 調べ方の変化
ある問いに対して、「どこかの誰か」がネット上で言っている答えにたどり着いて終了ではなく、その問いの答えにつながる材料を自分で集め、繋げ、そこから自分なりの答えを出すことに面白さを感じ始めている子どもたちの姿があった。
- 共有がしやすくなってお互いの発表が分かりやすくなった。
- 観察や実験にカメラを多用しながら記録を残す姿がたくさん見られた。
6年生は指示していないのに、その画像をドキュメントに貼り付け、実験結果や考察を提出することができた。
- 動画を編集、作成し、イギリスとの交流や善光寺びんずる市のPRに使ったりする姿が見られたというように、相手に伝える手段が、手紙やパンフレットではなく、「動画」が加わった。
- 日記は書くよりも分量が多くなり、伴って内容も濃くなったように思う。

Q2 デバイスを活用することで便利になったことはありますか。

- 子どもたちが Classroom で提出してきた振り返りをそのまま次の授業に繋げていくことができる。
- 資料提示などの準備が便利になった。
- 資料提示にスライドを多用したが、クラスルームに課題としてあげることで子どもたち、そして私自身にとっても学びの履歴として残ることがありがたかった。
- 日記が見やすく、管理しやすくなった。そのまま文をコピーできるのもよかった。

Q3 デバイスを活用することで、苦勞したり、大変になったことなど課題はありますか。

- 宿題を AI ドリルで作成するのに意外と時間がかかってしまう。また、その提出状況や間違えた箇所の把握に時間が結構かかってしまう。
- はじめはスライドでもパワーポイントと違うところがあり、理解するまでは作るのに時間がかかった。

Q4 デバイスを活用する上で工夫していることはありますか。

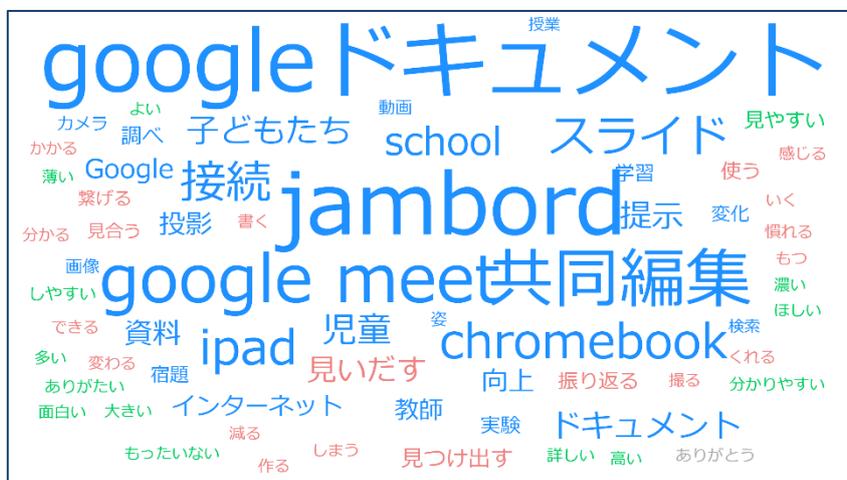
- 使用する場面や内容、方法等を考え使用するようにした。
- 基本的に資料提示用だったので見やすくシンプルに作るようにした。
- 実験の様子を撮った動画を共有したいという子どもたちの声から、スライドの共同編集機能と各班のページを用意しておくことで自然と実験を見合うことができるようにした。

Q5 子どもたちの様子から、心配なこと、危惧していることはありますか。

- 視力の低下 姿勢の崩れ 文字を書くことの減少。
- Scratch に熱中しすぎていないか。
- 掲示板への書き込みなど、ルールの徹底をどこまで求めていくのか。徹底できるか。

- 実験の動画を撮るにしても、まずは自分の体で感じてほしい。撮ることに集中したり、スライドの資料ばかり見て「もの・ひと」との対話が不足するともったいないと感じる。
- 使い慣れてくると、だんだん扱いが粗くなってくる。

Q6 授業で活用したアプリや場面など(AI テキストマイニング)



2 タイピングについて

3月に「タイピング1分間チャレンジ！！」を行いました。結果を以下の表にまとめました。

【タイピング文章】

「今日から、分散登校が始まりました。私たちは、グループに分かれて、一日おきに学校に来ています。早く、みんなで一緒に勉強がしたいです。」(65文字)

学年	参加人数	平均 入力文字数	平均 正解文字数	正確率(%)	満点 (65文字)
2年生	68	25.7	24.5	96	1名
3年生	67	34.4	33.5	97	3名
4年生	70	40	39.2	97	2名
5年生	71	49	48	97	6名
6年生	65	52	51	98	15名

3 修理について

本校では、保護者の皆様のご理解・ご協力のもと、児童のタブレット端末について、カンガルー保険に加入させていただきました。端末の故障・修理状況をご報告いたします。

(1) 破損・不具合の状況について

修理内容	台数
破損	7台
故障	15台
合計	22台

メーカー修理	保険適用修理	その他
6台	12台	4台

(2) 破損・不具合の内容について

- | | |
|--------------------|----|
| ① 充電ができない・電源が入らない等 | 8台 |
| ② 画面開閉部分(ヒンジ)のゆるみ | 5台 |
| ③ 画面の破損 | 3台 |

④ USB 端子・充電端子の破損	3台
⑤ タッチパッドが効かない	1台
⑥ キーボード破損	1台
⑦ 充電コード破損	1個
⑧ 画面保護フィルム張り替え	15台

4 まとめ

GIGA スクール元年となった昨年、多くの授業場面でタブレットを活用した授業を実践することができました。児童のタイピングスキルの向上はもちろん、調べ学習の道具の1つとして有効に活用している様子が見られました。私たち教師にとっても、タブレットを有効活用した授業作りについて考える機会となりました。それは、「いかにタブレットありきの授業をするか」ではなく、「子どもの学びを広め深めるためにはどのようなアプリあるいはツールを、どの場面でどう活用し授業をするか」ということです。

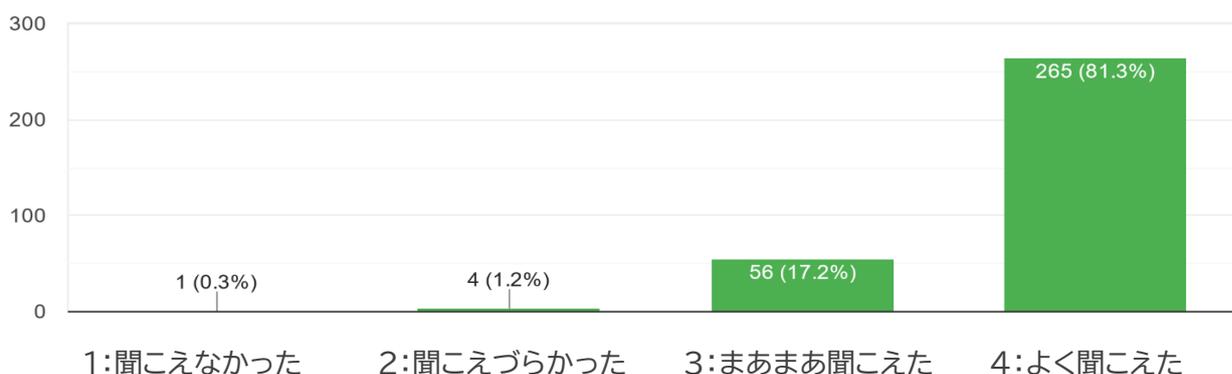
タブレットでの学習は、学校だけではなく、持ち帰りでの家庭学習においても有効に活用することができました。持ち帰ってからの課題ももちろんありますが、学校での学びで終わりではなく、学校の授業の終末に生まれた問いを家庭に持ち帰り、その問いの追究にタブレットを活用する、そんな場面も見られました。今年度も、昨年度同様これまでの体験的な学習を大切にしながら、児童理解を深め、子どもたちと共に歩む教師の有り様を問い続けるわたしたちでありたいという姿勢に変わりはありません。また、本リーフレットにまとめたように、初年度として取り組んだ成果や課題を今年度の推進に活かしていきます。引き続き学校と家庭で連携をとりながら子どもたちの学びを支えていけたらと考えております。保護者の皆様におかれましては、引き続きご理解ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

資料：分散登校時におけるオンライン授業の取り組みについて

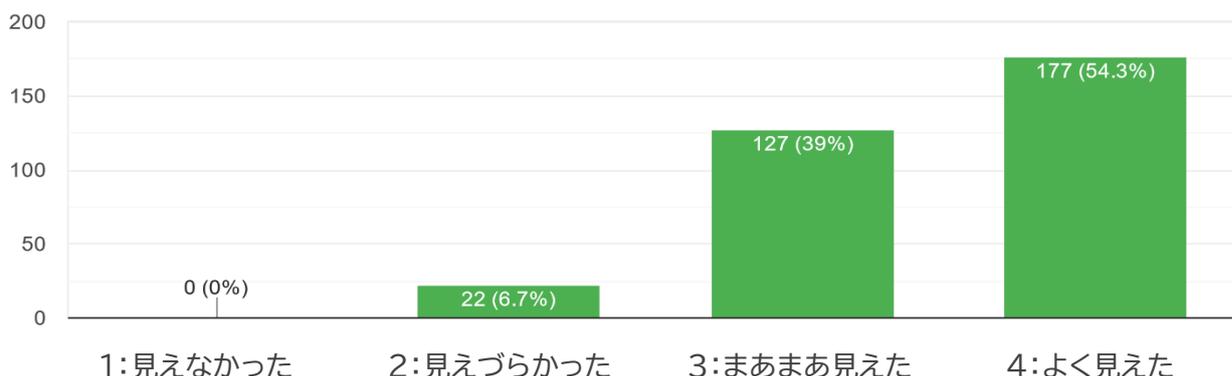
令和4年1月27日から2月20日に発令されました県の新型コロナウイルスまん延防止措置に伴い、本校でも分散登校を行いました。その際行ったオンライン授業の取り組みについて、保護者の皆様にお寄せいただいたアンケート(回答数326件)の結果についてご報告いたします。

(1) 授業について

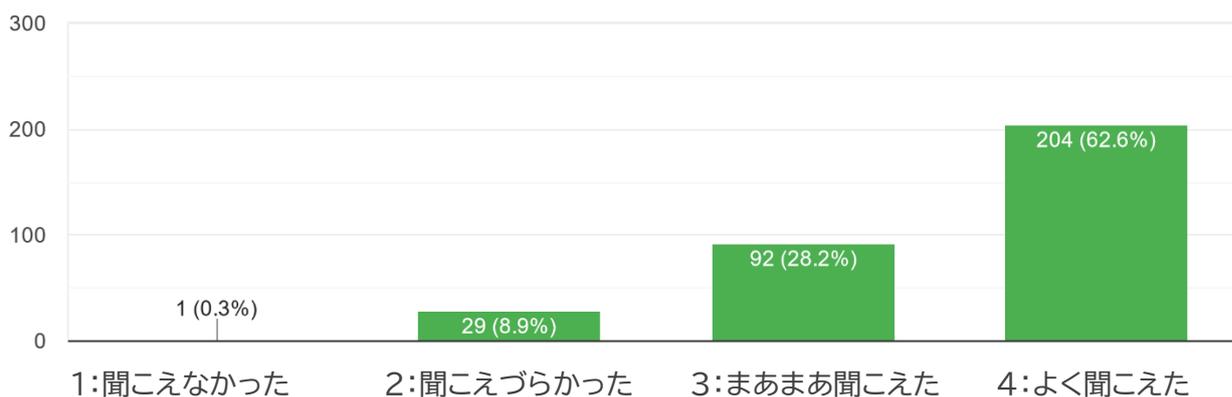
① 先生の声は聞こえましたか。



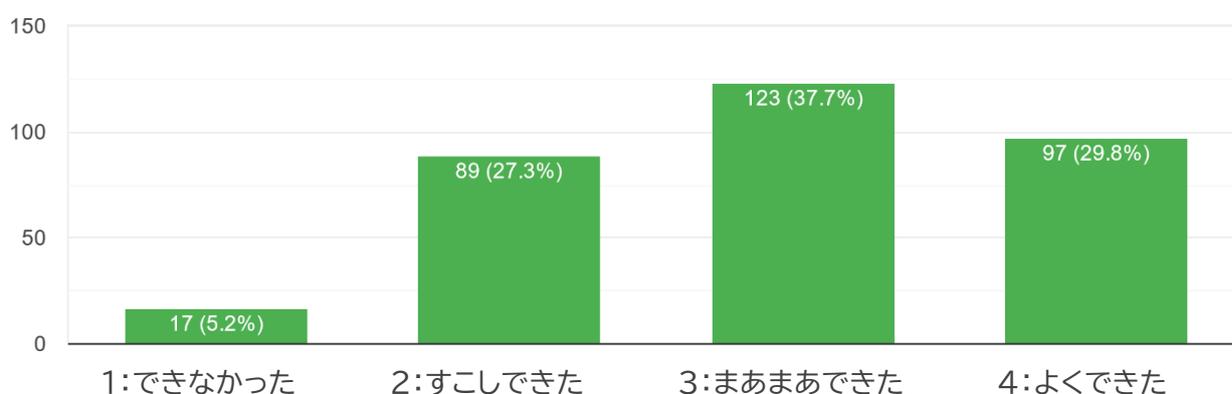
② 黒板や提示した資料は見えませんか。



③ 学校で授業をしている友だちの発言などは聞こえましたか。



④ 子どもたちは自学の時間(オンライン授業を除く)に目的をもって取り組むことができましたか。



以上の結果より、オンライン授業については概ね成立していたと考えられます。しかし、教室にいる子どもたちだけでなく、視聴する子どもたちにとっても見えやすい資料の提示方法についてはさらに工夫していく必要があります。また、オンラインだからこそ、教室の子どもたちとオンライン参加する子どもたちがお互いの考えを聞き合うことができる環境を構築していくこともこれからの課題として考えていきます。

以下、アンケートに自由記述でいただいたご感想をいくつかご紹介いたします。

～ 分散登校中のオンライン授業についてご感想等 ～

- 1日置きに登校ではありましたが、トカちゃんたちの事に関する話し合いなど、遅れをとらず情報を共有して考えていく時間とっていただけた事や、他にも、ICTの有効性をいかしていい授業を提供していただけたと思います。
- オンラインという形で会えないクラスメートや先生と触れ合うことができとても楽しかったです。全時間自主学習の学校もある中で積極的にオンラインを活用して下さりありがたかったです。
- さまざまな工夫をし、オンライン授業をして下さったことにより、登校できない日もオンライン授業をととても楽しみにしていました。
またオンラインになったことで、より積極的にディスカッションがされていたように思いました。対面に勝るものはないのかもしれませんが、何でも工夫次第で良い方向に向かっていけることを子供達は学んだように思いました。
- 先生の楽しい授業のおかげで、在宅学習日リモート授業に意欲的に取り組む姿(時折集中力が切れて注意することも多々ありましたが…)を見ることができました。コロナ禍で授業参観は出来ませんでしたでしたが、それ以上に授業の様子を垣間見させていただき嬉しかったです。おかげで我が子の

得意なこと、苦手なことが改めて分かりました。

自学の時間を充実させたいと思い色々働きかけましたが、自発的に取り組むとなると好きなこと(工作など)に偏ってしまい、改めて学校・先生の有り難さを感じました。登校日に生き生きとした顔で帰ってくる我が子を見ても、同じことを感じていました。

他校ではいまだタブレットが手元になく、朝から5時間目まで親が付きっきりで紙の課題に取り組んでいるという話を聞きました。たった2時間のオンライン授業でも集中力がギリギリの我が子…タブレットがあって本当に良かったと思いました。

- 普段の様子が見られて良かったです。先生の細やかな対応に感謝致します。タブレットは授業で使用していた為、使いこなして困ることはありませんでした。オンライン授業の時間が日によって変わるので、時間を確認しながら動かないといけないので緊張感があったように思います。この期間に苦手な所を重点的に復習でき、タブレットで日記を書く事でローマ字入力の習得に近づいたと思います。また、他の子供達や先生の顔を毎日見ることが出来たので、心の安定に繋がっていたのではないかと思います。オンライン授業を想定して日々計画的に取り組んでいただいたおかげです。ありがとうございました。
- 画面越しでの長時間の授業は、目や身体に負担がかかっているように感じました。対面と違いワンテンポ遅れての反応になり、それを補う先生の負担も小さくないと思います。しかし、一生懸命、友達の意見を聞こうとしている姿や、みんなと一緒にいるかのような環境で勉強ができたことは、子どもにとっても良い経験となりました。
- 分散登校中もオンライン授業をして下さったおかげで、日々の生活リズムを保つことができたと思います。感謝しております。ただ、オンラインの他にもAIドリル、宿題、またスクラッチもしていたのでPCに向かう機会が増え、首が痛くなったり目が疲れて頭痛がしたり、夜スツと眠れなくなる、、などはありました。また、AIドリルについては、文字が認識されず答えはわかるのに正解にならないなどストレスが溜まるようでしたので、手書きの問題ではなくキー入力できると有難いなと思いました。しかしながら、蔓延防止の中でも様々な工夫をして下さり、先生や友達とオンライン上だとしても毎日つながれる安心感はやはりあったと思います。そして、そんな忙しい中ご迷惑おかけしてしまいましたが、先生が子どものことで相談にのっていただくなど分散登校中も支えて頂きありがとうございました。
- 算数などわからない箇所が出てきたときにそのままになってしまっているのではないかと不安になることもありました。先生方が工夫して一生懸命授業をしてくれているのが伝わり、親も学習が定着しているかしっかりサポートしていく必要があるなと感じました。
- 1年生なのでオンライン授業があるとはいえ、親の補助がないと実施できないと思いました。自習の時間まで学習意義のあることをやらせるのは難しいです。やはり登校して学ぶのが一番だし、ありがたいなとつくづく思いました。

アンケートへのご協力ありがとうございました。オンライン授業の取り組みを好意的に受け止めていただいている一方、オンライン授業は保護者の皆様のお力添えなくしては成り立たないものであると改めて感じました。お子さんの様子を見守りながら、Google Meet への接続や操作の補助など多岐にわたってお支えいただきありがとうございました。子どもたちと共に学びをつくっていくことが本校の基本的な在り方です。そういった面から考えましても、今回のような分散登校は本校の在り方を改めて大切に見つめなおす機会となりました。

今後、不測の事態がおきましても、今回の経験を活かして、子どもたちの学びのためにより良い方法を探っていくことが必要です。特に、ご意見の多かった子どもたちの健康面やオンライン授業以外の家庭学習の在り方などについては今後の課題として考えて参りたいと思います。